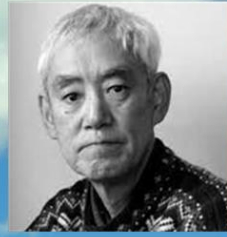


2023年国際農業ジャーナリスト連盟(IFAJ)総会

# カナダ大会 報告会

～カナダ西部の新しいフロンティア～

11月7日17:30 | 日本記者クラブ 小会議室 & Zoom  
主催：農政ジャーナリストの会



山田 優  
農業ジャーナリスト  
日本農業新聞特別編集委員



石井 勇人  
農業ジャーナリスト  
共同通信アグリラボ編集長



菅 正治  
時事通信社  
JAJA国際部



小倉 千沙  
(株)メロス 代表取締役  
JAJA国際部部長

## 国際農業ジャーナリスト連盟 (IFAJ) カナダ大会～カナダ西部の新しいフロンティア～ 報告会開催のご案内

時期：11月7日（火） 17:30～19:30

場所：Zoom/日本プレスセンタービル9階 日本記者クラブ小会議室（千代田区内幸町2丁目2-1）

会場は先着 20人

費用：無料

申し込み先：以下リンクまたは QR コード

<https://forms.gle/m2GaqYm7EFJLs5ez9>



主催：農政ジャーナリストの会 国際部

〒100-6826 東京都千代田区大手町 1-3-1 J Aビル 26階

TEL: 03(6269)9772 FAX: 03(6269)9773

**国際農業ジャーナリスト連盟 (IFAJ)** は、世界 55 カ国の各国の農業ジャーナリストの協会を会員とし、世界で 5,000 人以上の農業ジャーナリストやコミュニケーターに、専門的知見の共有や能力の向上と、国際的なネットワークづくりのためのプラットフォームを提供しています。日本農政ジャーナリストの会 (JAJA) も 1988 年から正会員となっています。

IFAJ の使命のひとつは、農業ジャーナリスト間のコミュニケーション強化で、そのための活動の一つとして、加盟国のうち 1 カ国が主催する年次会議を開催しています。2023 年カナダ大会は、2022 年デンマーク大会に続いての対面開催となり、JAJA からは 4 名の会員が参加しました。

カナダは、日本が菜種や大豆、牛肉、豚肉等の多くを依存している農業大国です。カナダは、気候変動において、冬季の気温の上昇により比較的良い影響を受けるとい、世界でも数少ない国の一つであり、日本の食料の安定供給にあたっては将来的にも高い重要性があります。一方で、酪農や養鶏産業では米国の巨大産業との競争を避けるために、保護的な生産管理システムを導入しており、日本の農業政策にとって示唆の深い国でもあります。カナダ国内の消費者の環境保全やアニマルウェルフェアに対する意識の向上に併せ、国内の農業も変革を迫られています。特に、今回の訪問地となったカナダの穀物や畜産の中心地であるアルバータ州では、そのような新しいフロンティアが開かれようとしているのでしょうか？

今回の報告会では、カナダ大会に参加した小倉 千沙 (JAJA 国際部 部長 株式会社メロス代表取締役)、菅 正治 (JAJA 国際部担当幹事 時事通信社)、山田 優 (農業ジャーナリスト 日本農業新聞特別編集委員)、石井 勇人 (共同通信アグリラボ編集長) が、大会の様子を報告します。

JAJA 会員以外でも、農業・食料・食農におけるサステナビリティに係る国際動向や、農業ジャーナリストの国際的なネットワーキングにご興味のある方は、ぜひふるってご参加ください！